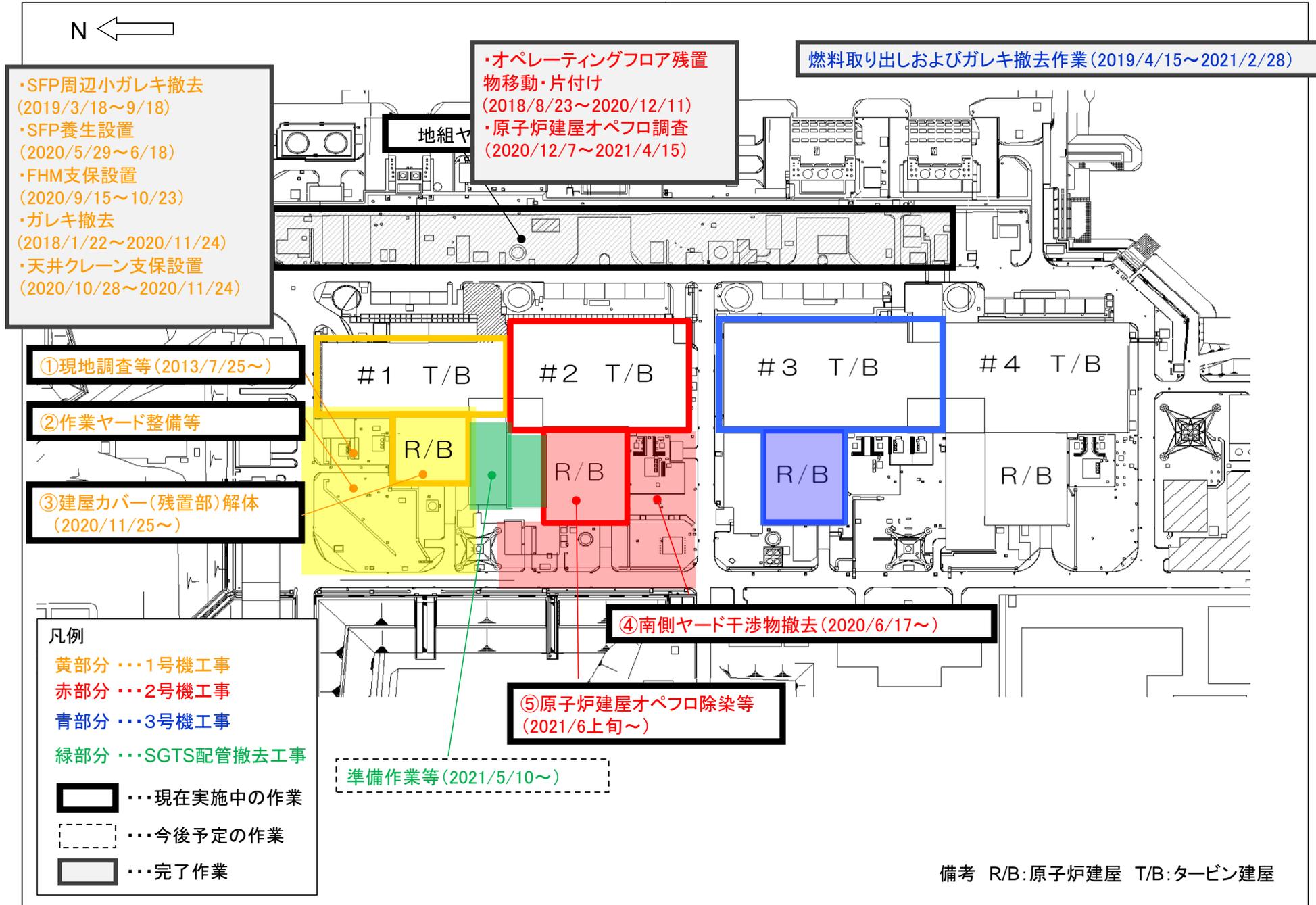


分野名	高炉中長期実行プラン2021 目標工程	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月以降	備考			
					18 25	2 9 16 23 30	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下	上 中 下				
使用済燃料プール対策	●1号機大型カバールの設置完了(2023年度頃) ●1号機燃料取り出しの開始(2027~2028年度) ●2号機燃料取り出しの開始(2024~2026年度) ●1~6号機燃料取り出し完了(2031年内)	カバール	燃料取り出し用カバールの詳細設計の検討 燃料取り出し用カバールの撤去 燃料取り出し用カバールの設置工事	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定 (実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・建屋カバール(残置部)解体 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・建屋カバール(残置部)解体 ・大型カバール設置(準備作業含む)	検討・設計 大型カバール、ガレキ撤去の検討・設計								○ガレキ撤去 ・ガレキ撤去: '18/1/22~20/11/24 (大型カバール設置後に再開予定) ・Xブレス撤去: '18/9/19~18/12/20 ・機器ハッチ養生: '19/1/11~19/3/6 ・屋根鉄骨断断: '19/2/5~19/2/22 ・SFP周辺小ガレキ撤去: '19/3/18~20/9/18 ・ウェルフラグ調査: '19/7/17~19/8/26 ・SFP内干渉物等調査: '19/8/2, '19/9/4~6 9/20, 27 ・ウェルフラグ上のH鋼撤去: '19/8/28 ・中M下部支障物撤去: '20/3/3~20/3/14 ・SFGアトカバール設置: '20/3/16~20/3/18 ・SFP養生設置(準備作業含む): '20/3/20~20/6/18 ・FHM支保設置(準備作業含む): '20/9/15~20/10/23 ・天井クレーン支保設置(準備作業含む): '20/10/28~20/11/24 ○大型カバール設置(準備作業含む): '20/11/25~ 【規制庁関連】 ・オペレーティングフロア床上加ガレキの一部撤去等 実施計画変更認可(2019/3/1) ・大型カバール 実施計画変更申請(2021/6/予定) ※○番号は、別紙配置図と対応			
					現場作業	①現地調査等('13/7/25~) ②作業ヤード整備等 ③建屋カバール(残置部)解体(準備作業含む)	④南側ヤード干渉物撤去 【補外】原子炉建屋オヘフロ除染 除染作業検証・モックアップ ⑤原子炉建屋オヘフロ除染 除染装置試運転・モックアップ・準備作業	④地盤改良 ⑤原子炉建屋オヘフロ除染 除染装置試運転・モックアップ・準備作業	④地盤改良 ⑤原子炉建屋オヘフロ除染 除染装置試運転・モックアップ・準備作業	④地盤改良 ⑤原子炉建屋オヘフロ除染 除染装置試運転・モックアップ・準備作業	④地盤改良 ⑤原子炉建屋オヘフロ除染 除染装置試運転・モックアップ・準備作業	④地盤改良 ⑤原子炉建屋オヘフロ除染 除染装置試運転・モックアップ・準備作業	④地盤改良 ⑤原子炉建屋オヘフロ除染 除染装置試運転・モックアップ・準備作業	④地盤改良 ⑤原子炉建屋オヘフロ除染 除染装置試運転・モックアップ・準備作業	④地盤改良 ⑤原子炉建屋オヘフロ除染 除染装置試運転・モックアップ・準備作業	【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択: '19/10/31 ・ヤード整備工事: '15/3/11~16/11/30 ・西側構台設置工事: '16/9/28~17/2/18 ・前室設置工事: '17/3/3~17/5/16 ・屋根保護層撤去(遮断層作業): '18/1/22~18/5/11 ・オペレーティングフロア西側外壁開口: '18/4/16~18/6/21 ・鉄骨トラス状況確認: '18/2/28~18/3/17 ・オペレーティングフロア調査: '18/6/25~18/7/18 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け: '18/8/23~18/11/6 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け後調査と片付け: '18/11/14~19/2/28 ・西側構台設備点検: '19/2/13~19/3/26 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その2): '19/3/25~19/8/27 ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その3): '19/9/10~20/2/25 ・SFP内調査: '20/4/27~20/6/30 (調査: '20/6/10~20/6/11) ・オペレーティングフロア残置物移動・片付け(その4): '20/3/2~20/12/11 ・原子炉建屋オヘフロ調査: '20/12/7~21/3/10 ・原子炉建屋オヘフロ除染: '21/6/上旬~22/1/下旬 ・【補外】原子炉建屋オヘフロ除染作業検証: '21/3/15~21/7/未 ・原子炉建屋オヘフロ除染: '21/6/上旬~22/1/下旬 ・原子炉建屋オヘフロ遮蔽体設置: '21/1/10/上旬~22/5/下旬 ・地盤改良工事: '21/9/未~22/上期 【規制庁関連】 ・西側外壁開口設置 実施計画変更認可(2017/12/21) ・燃料取り出し用構台 実施計画変更申請(2020/12/25) ・燃料取扱設備 実施計画変更申請(2020/12/25) ※○番号は、別紙配置図と対応
使用済燃料プール対策	●その他プール燃料取り出し関連作業	燃料取扱設備	クレーン/燃料取扱機的设计・製作 プール内ガレキの撤去、燃料調査等	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討	検討・設計 燃料取り出し設備の検討・設計								【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択: 2014年10月 →プール燃料取り出しに特化したプランを選択 ・ガレキ撤去計画継続検討 ・燃料取り出し計画の選択: '19/12/19			
					現場作業	燃料取り出し設備の検討・設計										【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択: '19/10/31
					燃料受け入れ	(実績) ・共用プールクレーン点検 (予定) ・なし	現場作業									【主要工程】 ○共用プール設備点検: ・クレーン点検: '21/3/15~21/4/9
					共用プール	(実績) ・乾式キャスク製作・検査 (予定) ・乾式キャスク製作・検査	調達	乾式キャスク製作・検査								【主要工程】 ・実施計画変更認可済(2020/9/29)
		共用プール空き容量確保(既設仮保管設備受入)	(実績) ・なし (予定) ・なし	現場作業								【主要工程】 ・乾式キャスク搬出作業開始(2022/3)				
		乾式保管設備(共用プール用)検討・設計・設置工事	(実績) ・乾式保管設備(共用プール用)検討 (予定) ・乾式保管設備(共用プール用)検討	検討・設計	乾式保管設備(共用プール用)検討							継続検討中				
		高線量機器取り出し	(実績) ・高線量機器取り出し方法の検討 (予定) ・高線量機器取り出し方法の検討 ・プール内調査 ・プール内ガレキ撤去	検討・設計 高線量機器取り出し方法の検討、取り出し機器・容器等の設計・製作 現場作業 高線量機器取り出し方法の検討、取り出し機器・容器等の設計・製作								【主要工程】 ○3号機 使用済燃料プール内調査: 2021年7月~2021年9月 ○3号機 使用済燃料プール内ガレキ撤去: 2021年9月~ 高線量機器取り出し方法の検討、取り出し機器・容器等の設計・製作 (2024年度完了予定)				

# 1, 2, 3号機 原子炉建屋上部瓦礫撤去工事 燃料取り出し用カバー工事 他 作業エリア配置図



原子力規制庁と協働で実施した  
2号機オペレーティングフロア調査結果について

2021年5月27日

**TEPCO**

---

東京電力ホールディングス株式会社

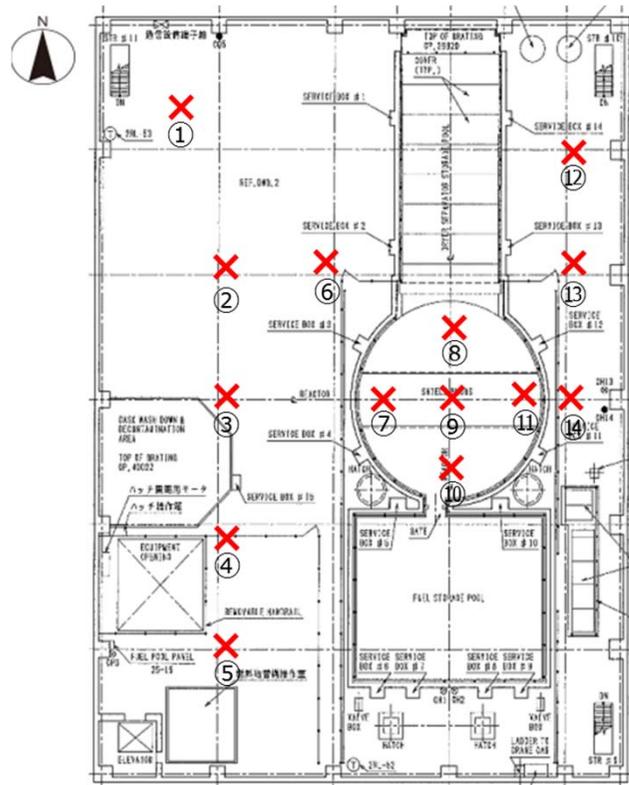
# 1. オペフロ調査の目的

■ オペレーティングフロア（以下、オペフロ）の床面及び天井面の調査を2021年4月14日～15日で実施。

■ 目的

- 床面調査は、シールドプラグの隙間及び下部にあると想定されるセシウムからの散乱線の影響を評価すること。
- 天井面調査は、天井の表面汚染密度を評価すること。

当該調査結果は、事故分析のみならず、廃炉作業のインプットとして活用。



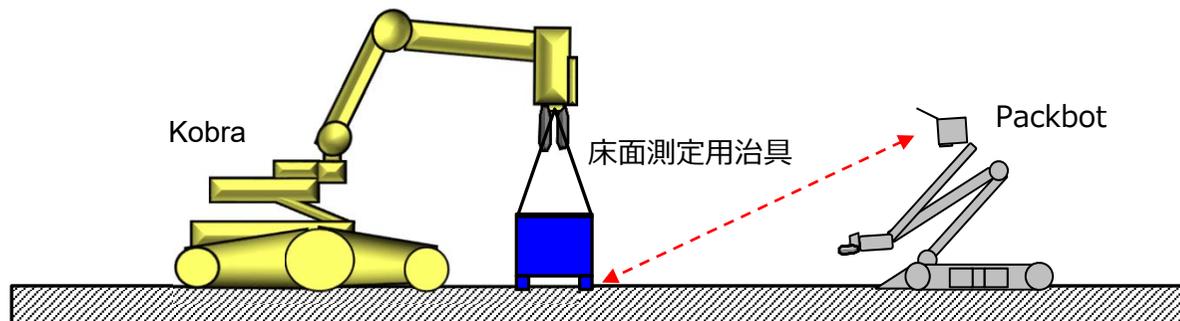
✕ : 測定点  
(床面と天井は、平面位置の同一場所で測定)



## 2. オペフロ調査方法

### ■ オペフロ床面調査

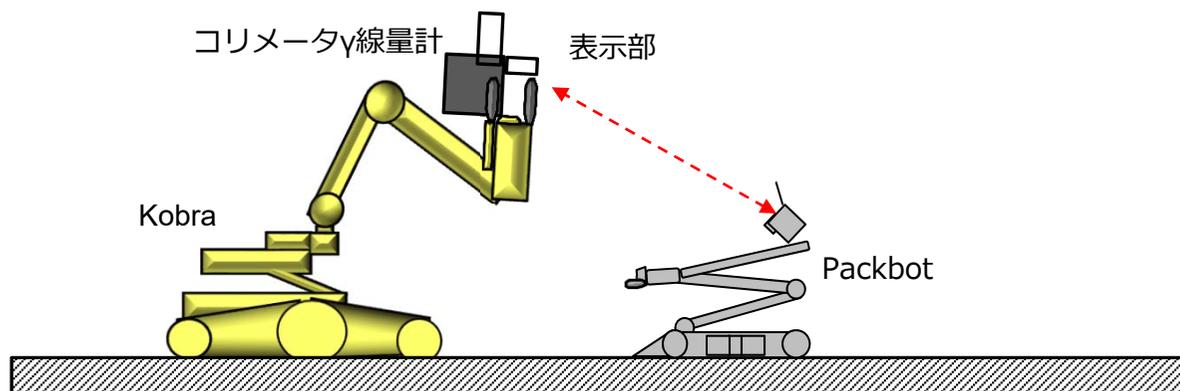
- ポータブル線量計を測定用治具に設置し, Kobraにて測定点に運搬
- 着床させ, 4分間の測定を実施 (待機)
- 測定治具の着床状態をPackbotのカメラで確認



測定用治具写真

### ■ オペフロ天井面調査

- コリメータγ線量計を天井に向け1分間測定 (待機)
- Packbotのカメラで表示部を確認し, 測定値を記録



コリメータγ線量計写真

### 3. 床面・天井面の表面汚染密度の測定結果

- オペフロ内床面(東側, 西側, シールドプラグ上)の表面汚染密度は, ほぼ同様であることを確認。2021年3月に実施したオペフロ空間線量率測定結果のシールドプラグ上部における空間線量率が, 他の領域より高かった原因は散乱線※の影響と評価。 ※: 3層のシールドプラグの隙間及び下部に蓄積されているセシウムの影響
- 天井面の汚染が一様に存在した場合の床面高さ1mの位置における天井面からの線量寄与は, 0.9mSv/h程度※であると評価。 ※測定値を基に高工ネ研にて評価

#### 【床面の表面汚染密度評価値】

- ✓ 西側平均  $3.6E+04\text{Bq/cm}^2$
- ✓ シールドプラグ上平均  $8.4E+04\text{Bq/cm}^2$
- ✓ 東側平均  $6.8E+04\text{Bq/cm}^2$

#### 【天井面の表面汚染密度評価値】

- 平均  $2.3E+05\text{Bq/cm}^2$



測定点⑩における床面測定状況

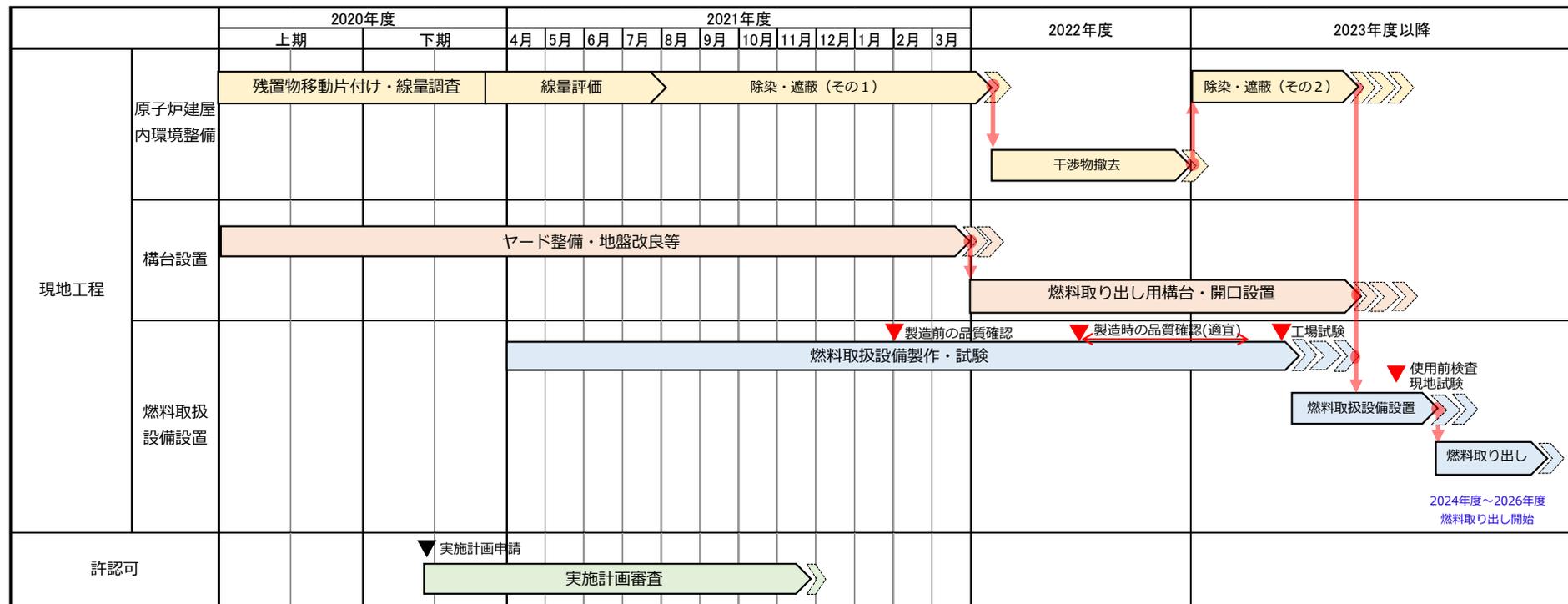


測定点⑩における天井面測定状況

## 4. 今後のスケジュール

- シールドプラグ上は、散乱線の影響が大きいことが確認できた。散乱線は、直接線に比べて、γ線エネルギーが低いことから、今後実施する遮蔽の線量低減効果に十分期待できる見込みである。
- オペフロ環境の目標線量1mSv/h以下を達成すべく、除染作業と遮蔽設置作業を進める。

▼：品質管理上のホールドポイント

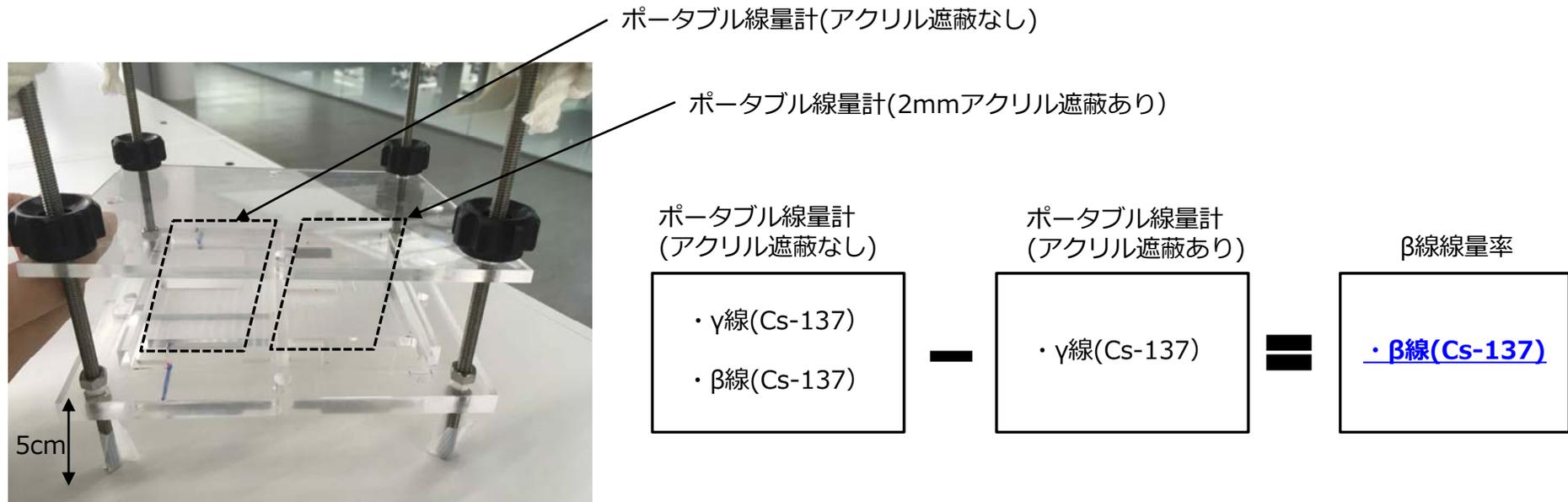


※工程の進捗により変更する可能性有

# 参考1. ポータブル線量計を用いた測定により表面汚染密度を求める原理



- アクリル遮蔽がないポータブル線量計は、 $\gamma$ 線、 $\beta$ 線を測定するが、2mmのアクリル遮蔽があるポータブル線量計は、Cs-137の $\beta$ 線(最大0.514MeV)が遮蔽される。
- アクリル遮蔽がないポータブル線量計と2mmのアクリル遮蔽があるポータブル線量計の差分により、Cs-137の $\beta$ 線線量率を算出する。
- Cs-137の $\beta$ 線線量率に応じたCs-137の表面汚染密度の関係は、校正線源を用いて事前に取得しておくことにより、Cs-137の表面汚染密度を算出する。



## ■ 参考

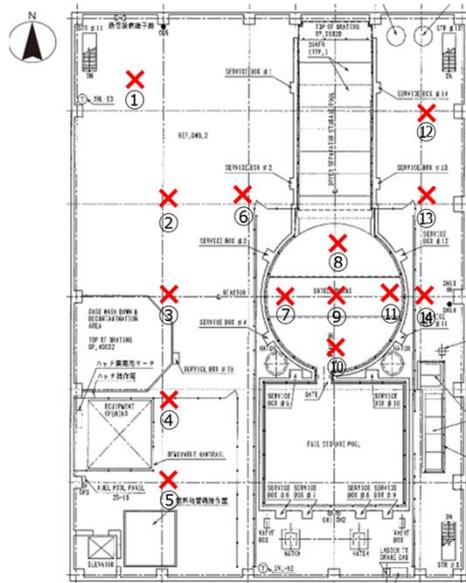
2018年に2号機原子炉建屋オペフロ西側壁面のボーリングコア試料の核種分析をJAEAにて実施しており、Cs-137とSr-90の比率からCs-137が支配的な状況であり、床面についても同様であると類推している。

## 参考2. 測定結果【床面調査】

【測定日】4/14 【測定器】ポータブル線量計 【測定高さ】床面より5cm

オペフロ内床面（西側，東側，シールドプラグ上）の表面汚染密度は，ほぼ同様であることを確認した。

このことから，シールドプラグ上部の線量率が他の領域より高い原因は，散乱線（3層のシールドプラグの隙間及び下部に蓄積されているセシウム）の影響と評価出来る。



✕：測定点

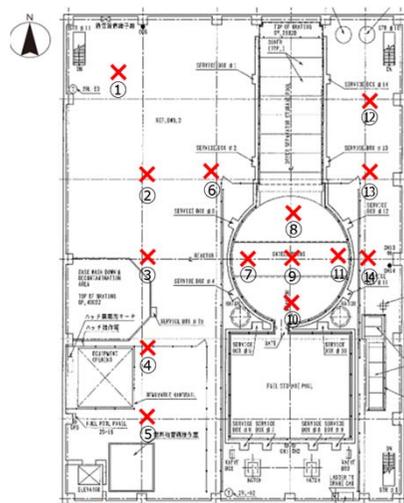
※1 黄色ハッチング箇所のみを有効とした。  
1cm線量当量率のアクリル遮蔽ありとアクリル遮蔽なしで，差が10%以上ある測定点については，線量計の近くに局所的な高濃度汚染が存在している可能性があるため評価対象外とした。

※2 表面汚染密度換算式  
表面汚染密度 = (アクリル遮蔽なし(70μm) - アクリル遮蔽あり(70μm)) ÷ 換算定数  
・換算定数：7.2E-04[(mSv/h)/(Bq/cm<sup>2</sup>)]  
(測定値を基に高工ネ研にて評価)

測定点	1cm線量当量率 (測定値)		70μm線量当量率 (測定値)		Cs-137表面汚染密度 (評価値) ※2
	mSv/h		mSv/h		Bq/cm <sup>2</sup>
	遮蔽なし	遮蔽あり	遮蔽なし	遮蔽あり	
①	6.72	6.76	32.3	8.58	3.3E+04
②	14.2	25.7	29.8	40.3	— ※1
③	5.92	5.84	15.1	6.80	1.2E+04
④	8.26	7.78	36.3	9.42	3.7E+04
⑤	19.2	14.2	42.7	16.8	— ※1
⑥	17.5	16.3	65.0	20.6	6.2E+04
⑦	38.0	36.3	107	46.8	8.3E+04
⑧	229	254	362	353	1.2E+04
⑨	265	365	567	485	— ※1
⑩	147	123	472	156	— ※1
⑪	22.2	23.3	142	30.5	1.6E+05
⑫	50.3	49.1	132	60.5	1.0E+05
⑬	113	85.8	189	102	— ※1
⑭	50.3	49.1	92.0	66.4	3.6E+04

## 参考3. 測定結果【天井面調査】

【測定日】4/15 【測定器】コリメータγ線量計, Dose-i (空間線量計) 【測定高さ】床面より1.2m  
測定結果を用いて天井面からの線量寄与を評価したところ, 床面高さ1mの位置で0.9mSv/h程度※1



✕: 測定点

※1 14箇所の天井の平均表面汚染密度 ( $2.3E+05\text{Bq/cm}^2$ ) が, 天井に一樣に存在した場合の床面高さ1mの位置における天井からの線量寄与(測定値を基に高工ネ研にて評価)

### ※2 表面線量率 換算式

表面線量率 = コリメータ値 × 換算定数 - 空間線量率 × 鉛減衰率

- ・換算定数:  $8.20E-04[(\text{mSv/h})/\text{cps}]$
- ・鉛減衰率:  $1.81E-03$

### ※3 表面汚染密度 換算式

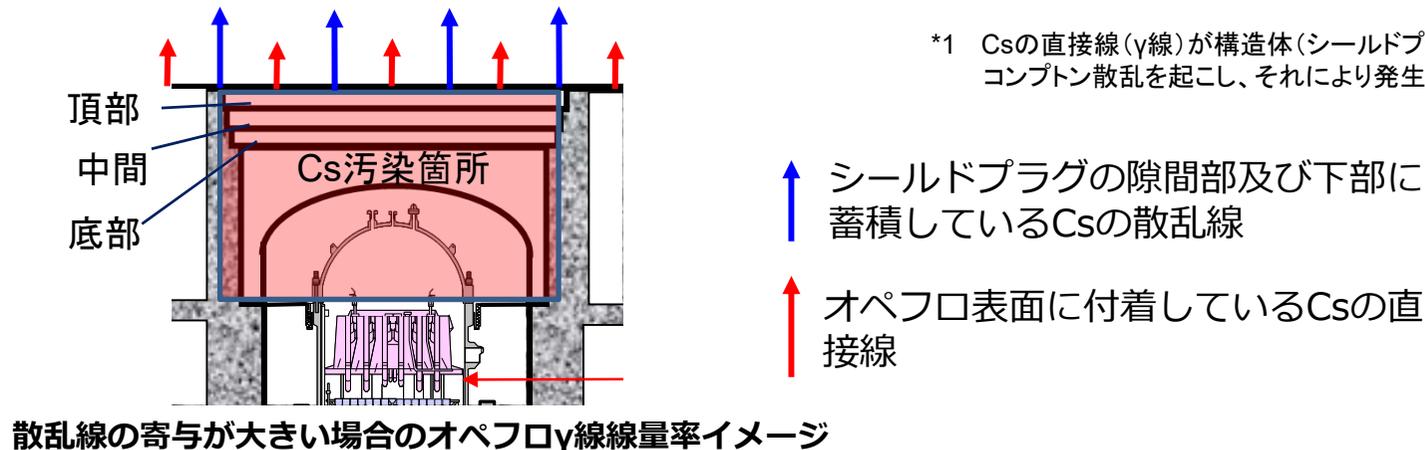
表面汚染密度 = 表面線量率 × 換算定数  
・換算定数:  $1.38E+06[(\text{Bq/cm}^2)/(\text{mSv/h})]$

(測定値を基に高工ネ研にて評価)

測定点	測定開始時間	測定終了時間	コリメータ値 (測定値) (cps)	空間線量率 (測定値) (mSv/h)	表面線量率※2 (評価値) (mSv/h)	表面汚染密度※3 (評価値) (Bq/cm <sup>2</sup> )
①	11:03:00	11:04:00	113	8.78	0.08	$1.1E+05$
②	11:07:00	11:08:00	410	13.60	0.31	$4.3E+05$
③	11:10:00	11:11:00	263	11.08	0.20	$2.7E+05$
④	11:13:15	11:14:15	126	11.52	0.08	$1.1E+05$
⑤	11:15:35	11:16:35	155	13.68	0.10	$1.4E+05$
⑥	11:20:00	11:21:00	229	20.88	0.15	$2.1E+05$
⑦	11:27:45	11:28:45	299	61.27	0.13	$1.8E+05$
⑧	11:31:15	11:32:15	293	102.2	0.06	$7.5E+04$
⑨	11:34:30	11:35:30	379	117.2	0.10	$1.4E+05$
⑩	11:37:10	11:38:10	262	70.34	0.09	$1.2E+05$
⑪	11:41:20	11:42:20	346	61.27	0.17	$2.4E+05$
⑫	11:48:40	11:49:40	147	33.62	0.06	$8.2E+04$
⑬	11:52:20	11:53:20	343	31.32	0.22	$3.1E+05$
⑭	11:58:20	11:59:20	865	53.56	0.61	$8.4E+05$

## 参考4. 測定結果の考察

- これまでのオペフロ調査でシールドプラグ上部の $\gamma$ 線線量率が他の領域より高いことが分かっており、オペフロ面により多くの汚染が付着していれば他の領域よりもオペフロ面に付着したCsの直接線が高いと考えられる。
- 床面調査により、オペフロ面ではほぼ同じ表面汚染密度であることが確認できた。
- シールドプラグ上部の $\gamma$ 線線量率が他の領域より高い原因は、散乱線<sup>\*1</sup>（3層のシールドプラグの隙間部及び下部に大量に蓄積されているCs）の寄与が大きいと判断できる。
- シールドプラグ上の線源は、オペフロ表面に残っているというよりも、散乱線の大きくなるような領域（表面ではない場所）に線源があると推定されることから、遮蔽による効果は十分期待できる見込みである。

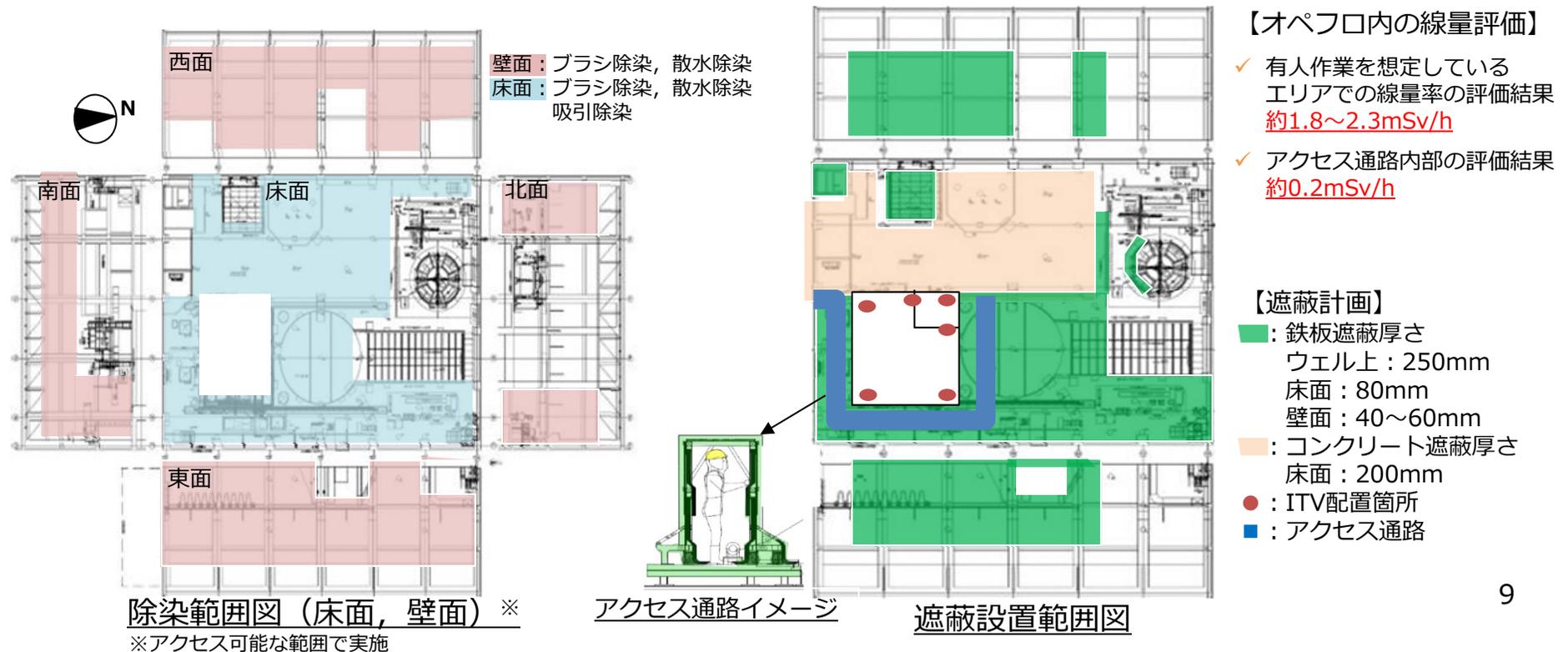


### ■ 参考

2014年に2号機原子炉建屋内から採取したシールドプラグ上部・北東床面のボーリングコア試料の分析をJAEAにて実施した結果と今回の測定結果を比較して同程度の表面汚染密度であった。

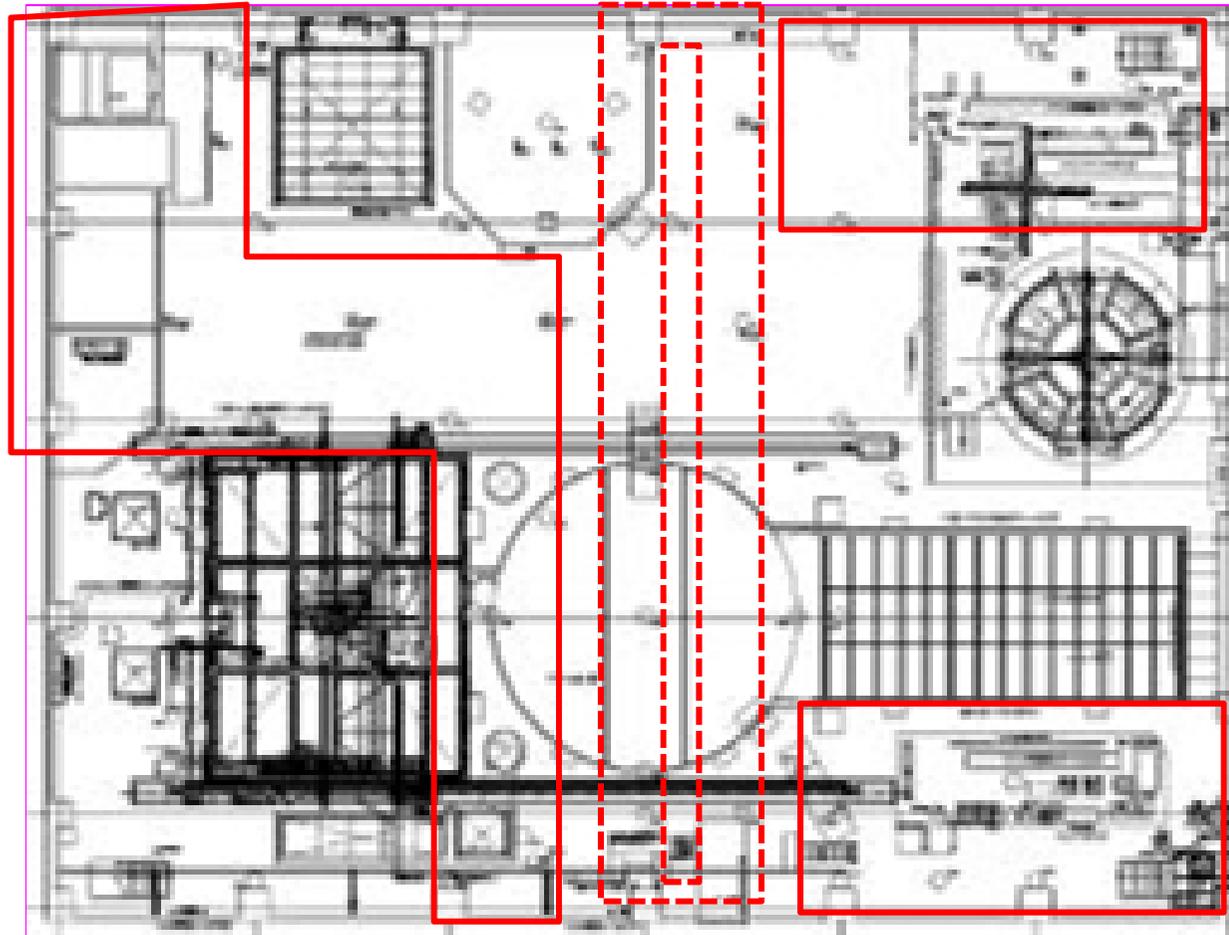
## 参考5. オペフロ線量低減の設計状況

- 2018年度に実施したオペフロ調査結果から、遮蔽体設置工法及び除染の仕様について現在詳細な検討を進めている。
- 除染及び遮蔽設置後の評価結果より、原子炉建屋内の有人作業は限定的な作業ではあるが、可能であると評価している。想定している有人作業は以下の通り。
  - 設備設置時：SFP近傍へのITV及び照明設置，非常用注水配管設置，ランウェイガード設置
  - 設備不具合時：ITV故障，燃料取扱機油圧系統不具合等
- 今後実施する線量低減作業時にホールドポイント（除染・遮蔽完了後等）を設け、線量低減効果の確認を行い、追加線量低減対策の要否を検討する計画。

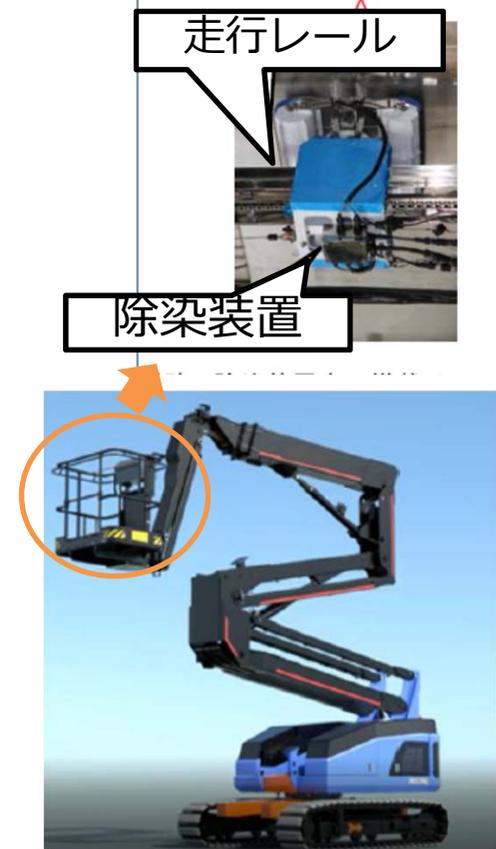


## 参考6. 天井面の除染範囲

- 高所作業台車を使用し、アクセス可能な範囲で高所壁面、天井、天井クレーン（底面、側面）の除染を計画している。



天井面の除染範囲図



高所作業台車イメージ図

- : 天井ブラシ除染
- (dashed) : 天井クレーンブラシ除染

参考7. 空間線量率 (γ線線量率) の測定結果 (床高さ: 約1.5m)

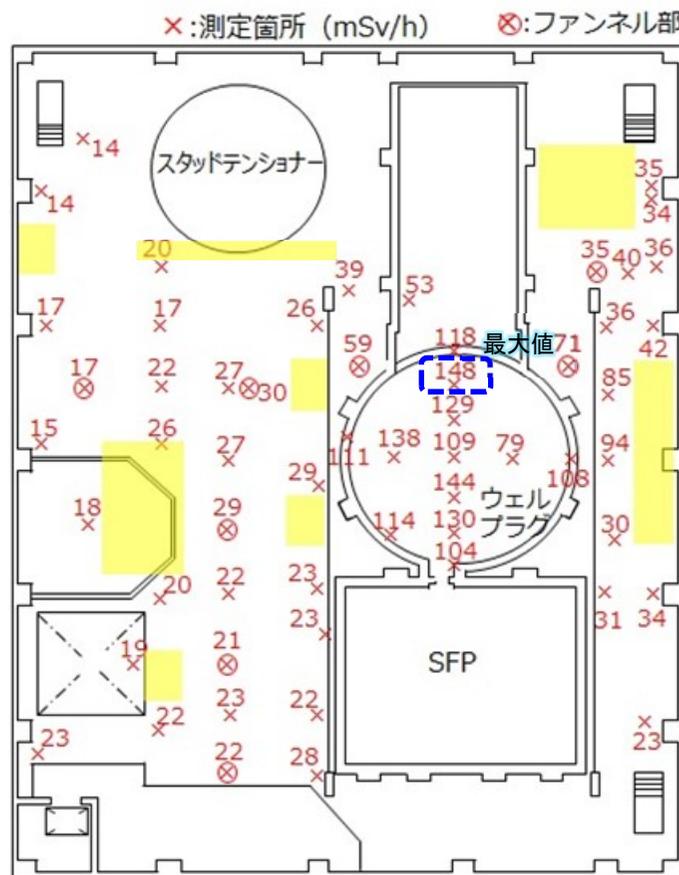


■ 前回の空間線量率測定結果と比較し, 全体で2割程度の線量低減を確認。

➤ 線量低減要因 (推定)

✓ 残置物移動・片付けによる線量低減: 1割程度

✓ 自然減衰 (2018年度⇒2020年度の約2年間分): 1割程度



■:測定時にあった残置物



※オレンジ色字は新規測定点を示す

2018年11月～12月測定結果

2021年2月～3月測定結果

### 使用済燃料等の保管状況

保管場所	保管体数(体)				取出し率	(参考) 2011/3/11 時点	備考
	使用済燃料プール		新燃料 貯蔵庫	合計			
	新燃料	使用済燃料	新燃料				
1号機	100	292	0	392	0.0%	392	
2号機	28	587	0	615	0.0%	615	
3号機	0	0	0	0	100.0%	566	
4号機	0	0	0	0	100.0%	1,535	
5号機	168	1,374	0	1,542	0.0%	1,542	・2011/3/11時点の体数は炉内含む
6号機	198	1,456	230	1,884	0.0%	1,704	・2011/3/11時点の体数は炉内含む ・使用済燃料プール保管新燃料の
1～6号機	494	3,709	230	4,433	30.2%	6,354	

保管場所	保管体数(体)			保管率	(参考) 保管容量	備考
	新燃料	使用済燃料	合計			
乾式キャスク 仮保管設備	0	2,033	2,033	51.3%	3,965	キャスク基数37 (容量:65基)
共用プール	76	6,595	6,671	99.1%	6,734	ラック取替工事実施により当初保管 容量6,840体から変更

	保管体数(体)		
	新燃料	使用済燃料	合計
福島第一合計	800	12,337	13,137

赤字:2021/4/27報告時からの変更点  
変更なし



# 1号機飛散防止剤散布実績及び連続ダストモニタ計測値

2021/05/27



東京電力ホールディングス株式会社

# 1.定期散布（1号機）

定期散布	
目的	オペレーティングフロア（以下、オペフロ）上へ飛散防止剤を定期的に散布し、ダストの飛散抑制効果を保持させることを目的とする。
頻度	1回/月
標準散布量	1.5L/m <sup>2</sup> 以上
濃度	1/10
散布範囲	<p>【凡例】   : 散布範囲</p> <p>約40m          約30m          オペフロ          建屋カバー          PN</p>
散布面積	1,234m <sup>2</sup>

## 2.作業時散布・定期散布の実績及び予定（1号機）

作業時散布			
目的	オペフロ上での（ガレキ撤去や除染等）作業に応じて、飛散防止剤を散布し、ダストの飛散を抑制することを目的とする。		
標準散布量	1.5L/m <sup>2</sup> 以上	濃度	1/10
散布対象作業	ガレキ撤去		
定期散布の実績及び予定			
計画（5月）	実績（5月）	計画（6月）	
完了予定日：5月17・18日 PN	完了日：5月17・18日 PN	完了予定日：6月24・25日 PN	

【凡例】 ：計画散布範囲 ：実績散布範囲

2021年5月27日時点

### 3.作業時散布の実績及び予定（1号機）

								当該週の散布範囲	
4月	月	25 (日)	26 (月)	27 (火)	28 (水)	29 (木)	30 (金)	1 (土)	
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	6.39E-05 (最大) ND (最小)	1.07E-04 (最大) ND (最小)	1.21E-04 (最大) ND (最小)	8.56E-05 (最大) ND (最小)	8.01E-05 (最大) ND (最小)	1.21E-04 (最大) ND (最小)	1.10E-04 (最大) 6.57E-07 (最小)	
5月	月	2 (日)	3 (月)	4 (火)	5 (水)	6 (木)	7 (金)	8 (土)	
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.13E-04 (最大) ND (最小)	1.54E-04 (最大) ND (最小)	9.38E-05 (最大) ND (最小)	7.21E-05 (最大) ND (最小)	8.84E-05 (最大) ND (最小)	7.97E-05 (最大) ND (最小)	8.14E-05 (最大) ND (最小)	
5月	月	9 (日)	10 (月)	11 (火)	12 (水)	13 (木)	14 (金)	15 (土)	
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.20E-04 (最大) ND (最小)	1.57E-04 (最大) ND (最小)	1.22E-04 (最大) ND (最小)	5.70E-05 (最大) ND (最小)	7.06E-05 (最大) ND (最小)	5.42E-05 (最大) ND (最小)	1.00E-04 (最大) ND (最小)	
5月	月	16 (日)	17 (月)	18 (火)	19 (水)	20 (木)	21 (金)	22 (土)	
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	(定期散布実施)	(定期散布実施)	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	(定期散布実施)	(定期散布実施)	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.14E-04 (最大) ND (最小)	7.33E-05 (最大) ND (最小)	7.06E-05 (最大) ND (最小)	9.78E-05 (最大) ND (最小)	5.50E-05 (最大) ND (最小)	7.06E-05 (最大) ND (最小)	4.91E-05 (最大) ND (最小)	
5月	月	23 (日)	24 (月)	25 (火)	26 (水)	27 (木)	28 (金)	29 (土)	
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	6.51E-05 (最大) ND (最小)	7.33E-05 (最大) ND (最小)	9.23E-05 (最大) ND (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	(最大) (最小)	
5月	月	30 (日)	31 (月)	1 (火)	2 (水)	3 (木)	4 (金)	5 (土)	
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	(最大) (最小)							

※1 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値、ND=不検出